

令和元年度 第1回新宮町総合教育会議（議事録）

1 開催日時

令和元年8月19日（月） 開会 午後5時56分 / 閉会 午後6時23分

2 開催場所

新宮町役場3階 第2委員会室

3 議題

- (1) 新宮町立立花幼稚園における預かり保育実施について
- (2) 町立幼稚園の統合について

4 出席者

新宮町長 長崎 武利

新宮町教育委員会

教育長 宮川 優子

委員 恵良 周司

委員 庄野 仁美

委員 平野 典子

委員 横山 英治

副町長 吉村 隆信

福田 猛

政策経営課長 阿部 宏紀

学校教育課長 森 和也

社会教育課長 西田 大輔

事務局

総務課長 太田 達也

総務課課長補佐 片山 勇二

総務課主査 三船 嘉子

5 傍聴者

なし

6 議事の経過

別紙のとおり

議事録署名人

長崎武利

議事録署名人

宮川優子

1 開会（町長挨拶）

平成31年4月に開校した新宮東中学校は、教育委員会並びに教育委員の皆様のお陰もあり、子ども達も喜んで学校生活を送っているようである。併せて町立中学校での完全給食を実施し、今年度はすべての小中学校の特別教室にもエアコンを整備することにしている。このように、新宮町では着実に教育環境の充実を図ってきたところであるが、本年10月からの幼児教育、保育の無償化という大きな課題を前に、本日の会議を開催させていただく。

2 議事録署名者の指名

議事録署名者を長崎町長及び宮川教育長とすることで同意、決定。

3 議事

(1) 新宮町立立花幼稚園における預かり保育実施について

(2) 町立幼稚園の統合について

総務課長

本日、御案内していた2つの議題は、いずれの議題も幼児教育保育の無償化に端を発した町立幼稚園の対応策であるため、一括議題とさせていただく。

長崎町長

幼児教育・保育の無償化については、町長部局でも無償化後の町立幼稚園に対する影響を様々な観点から予測をしてきた。

その結果として、無償化の影響が大きく出始める令和4年には、町立幼稚園の園児は半減する可能性があり、現在の3園を維持することが困難な状況になると思われる。私立博多東幼稚園の町内での移転計画もあり、町立幼稚園の統合は避けられない状況である。立花幼稚園については、東部地区に保育所がなく、保育ニーズに対応する必要がある。また、統廃合によりクラス数が減少することから、幼稚園教諭の職を確保することが必要な状況である。

以上のことから、新宮幼稚園と新宮東幼稚園を統合し、立花幼稚園は、統廃合の対象から除き、存続させたい考えである。

新宮幼稚園と新宮東幼稚園の統合については、現在調査中の子ども子育て支援計画のアンケート結果や、来年の入園児の受け付け状況を見ながら、教育委員会として統合に向けた計画を作っていただきたい。立花幼稚園の存続に当たっては、来年度からの実施を目標として預かり保育の実施に向けた検討を行っていただきたい。

なお、町立幼稚園の現状と今後の園児の推移予測、対応策の細部に関する説明は阿部政策経営課長から説明を行う。

政策経営課長

資料1に沿って、幼児教育・保育の無償化の制度概要について説明。

資料2に沿って、新宮町の人口構成について説明。新宮町全体の令和元年5月1日現在の人口のうち、8歳が562名と新宮町でも一番大きな人数を占めている。今年入園の対象となった3歳児は437名、昨年度生まれた子どもが360名で、ピーク時から比べると200名ほど減少しているのが新宮町全体の現状である。

資料3に沿って、町立幼稚園就園者の推計について説明。令和元年度は、幼稚園に入園する年齢（3歳）の対象者が437名おり、そのうち各幼稚園に就園したのが、新宮幼稚園が46名。昨年度の61名から15名の減少。新宮東幼稚園が、昨年度57名、今年度39名。立花幼稚園は昨年度12名、今年度4名。全体では、昨年度130名に対して、今年度89名が町立幼稚園への入園となっている。

これと同程度の就園率を掛けると、令和5年の園児数は、新宮幼稚園も100名前後、新宮東幼稚園は100名を切る。

子どもの数が減ってくるのに対して、受け皿は、保育園、幼稚園もあり、先ほど町長も申し上げたが、令和4年にはふれあいの丘公園の方に博多東幼稚園が開園を予定しているという現状である。

新宮幼稚園と東幼稚園が統合した場合、園児数を推計の通りとすると、現在でも、収容可能な人数となる。

資料4に沿って政策調整会議での協議内容について説明。町長、教育委員会、政策経営課で、町立幼稚園のあり方を議題に、第1回政策調整会議を令和元年7月5日に行った。町立幼稚園のあり方について議論し、決定事項としては、新宮東幼稚園と新宮幼稚園を統合する方向で調整を進めること。立花幼稚園については、預かり保育の検討を進め、まず幼稚園の先生たちのヒアリングを行い、その後7月末頃に再度政策調整会議を開催するという事になった。

これを受け、教育委員会、学校教育課で先生方のヒアリング等を行い、立花幼稚園のシフト等も考えていただいている。

第2回会議は、令和元年7月31日に開催し、町立幼稚園のあり方と立花幼稚園における預かり保育を議題とした。立花幼稚園の先生方とのヒアリングを行い、立花幼稚園では預かり保育を令和2年度から開始することが可能だろうということになった。新宮東幼稚園と新宮幼稚園の統合については、申し込み状況を考慮して11月に再度政策調整会議を行い、方針を決定していくことになった。

これを受け、町長が新宮町総合教育会議を本日開催し、上記の2点について町教育委員会に検討をお願いする運びとなっている。

総務課長

教育長、学校教育課から補足があればお願いしたい。

宮川教育長

資料3を見て分かるように、町立幼稚園の就園率が3割を切っており、特に立花幼稚園については教育委員会の中でも今後のあり方を検討する必要があるとして進めてきた。立花幼稚園は、数年前から全小学校区から入園できる状況を作り、平成30年度が36名、本年度が25名の就園である。以後見ていくと、非常に厳しい状況にある。現在、立花小学校区で就学前の子どもがいる世帯を対象に、預かり保育の実施を視野に入れたアンケートを行っている最中である。8月の末に集計をすることになっており、今その結果を待っている。もう1点、次年度の入園説明会を3園合同で例年行っており、本年度も10月16日に実施する予定である。次年度の入園申込みの締め切りが11月1日であるため、入園説明会でも、立花幼稚園について、何らかの方向性、この協議の結果を伝えていく必要も出てくると考えている。今後の見通しを少

し述べさせていただいた。

総務課長

委員の皆様からこの件に関して御質問・御意見等があればお願いしたい。

横山委員

立花幼稚園で預かり保育を実施するという方向で考えられているが、例えば、今回統合する幼稚園の御父兄から公平ではないという意見が出ないか。

政策経営課長

その意見は政策調整会議の中でも出されたが、立花小学校区については、保育所のような長時間預かれる施設がない。立花小校区以外には、現在保育園は5園ほどあり、博多東幼稚園が東幼稚園の近くに移転してくる。立花小校区に関しては、立花幼稚園以外にないため、こちらでだけ預かり保育を実施したいと考えている。

横山委員

立花幼稚園は今どの校区からも来られるようになってきているが、預かり保育ができるため、希望者が増え反対に定員を超える場合はどのように対応するのか。

政策経営課長

幼稚園では定員を超える場合、抽選としているため、抽選を実施したい。

吉村副町長

幼稚園の先生の状況は、職を確保する観点もあるため、正職員と非常勤がどういう状況になっているかを教えていただきたい。

学校教育課長

3園すべての人数であるが、今担任をもっている正規の先生が11名、非常勤職員でクラスを担当しているのが9名で、ほぼ半数という状況である。それ以外に教務主任、園長のうちの1名、補助教員の1名が正規の職員で、5名の正規の職員がいる。あと、補助職員として非常勤が3名ほどいる。それ以外に、介助員も別におり、正職員と非常勤の割合はほぼ半々というような状況である。

総務課長

ほかに何かないか。

それでは、当初予定していた議事は以上。

長崎町長

本日の議事については、教育委員会に持ち帰り、教育委員会として9月議会で一定の方向性を説明していただきたい。

4 その他

- ・特になし

5 閉会